

Roland Synthesizer SH-5



¥ 260,000 (本体)

- スタンドKS-10 ¥15,000
- フットボリュームFV-1 ¥6,800
- ペダルスイッチDP-1 ¥1,800

SH-5は、厚みのある、多様性に富んだ音づくりが存分に展開できる、演奏本位に設計されたフル・コントロール型で、コントロール・パネルをフロント部に配し、コントローラーは鍵盤左側に独立させた、コンボ・タイプとしては理想的な機能を装備した44鍵のシンセサイザーです。

《特長》

- 1 厚みのある、多様性に富んだ音源設定ができる2 VCO。
- 2 ローパス、ハイパス、バンドパスに切り替えられるVCFと、独立したバンドパス・フィルターにより多彩な音色づくりができます。
- 3 VCAではパンニング操作ができ、音に動きをつけることができます。
- 4 ADSRとARの2種のエンベロープが活用でき、トリガー選択も可能です。
- 5 リング・モジュレーターを装備。
- 6 ノイズ、VCO1、2、リング・モジュレーター及び外部入力計5つの信号をミキシングでき、信号の進路を選択できるミキサーを装備。
- 7 明滅によって作動がひと目でわかるシグナル・ランプを各ブロックに着装。
- 8 他楽器音や人声を音源にした音づくりができる入力端子を装備。
- 9 演奏中のピッチ操作、音色操作に威力を発揮する手動レバー式ベンダーをコントローラーに装備。

《仕様》

- 44鍵 (Fステール)
- コントローラー：チューン…1 / トランスポーズ…1 / ホルタメントタイム…1 / ホルタメント切替…1 / ベンダー…1 / ベンダー切替…1 / VCOベンダー切替…1 / LFO…1 / リバース…1 / レート…1 ● LFO-2：レート…1 / ディレイタイム…1 ● サンプル&ホールド；モード切替…1 / サンプルタイム…1 / ラグタイム…1 ● エンベロープ・ジェネレーター；A R、ADSR / ARトリガー…1 / ADSRトリガー…1 ● ノイズジェネレーター；ホワイト・ピンク切替…1 ● VCO-1；モジュレーション切替…1 / モジュレーション…1 / ピッチ…1 / シンクロ…1 / パルスワイド切替…1 / パルスワイド…1 / ウェーブフォーム切替…1 / VCOLレンジ…1 ● VCO-2；モジュレーション切替…1 / モジュレーション…1 / ピッチ…1 / キーボードフォワード…1 / パルスワイド切替…1 / パルスワイド…1 / ウェーブフォーム切替…1 / VCOLレンジ ● リングモジュレーター；インプット切替…2 ● ミキサー；レベル…5 / 進路切替…5 ● VCF；モジュレーション切替…1 / モジュレーション…1 / キーボードフォワード…1 / フィルター切替…1 / カットオフ・フリケンシー…1 / レゾナンス…1 / エンベロープ切替…1 / センシティブィティ…1 ● バンドパス・フィルター；フリケンシー…1 / レゾナンス…1 / レベル…1 ● VCA；モジュレーション切替…1 / モジュレーション…1 / エンベロープ切替…1 / パンニング…1 ● ヘッドホーンモニター；レベル…1 / ジャック…1 ● 接続端子；コンピューター (鍵盤電圧用2、鍵盤トリガー用2) / ペダル・コントロール (エクスプレッション用2、VCO用1、VCF用1) / 外部入力 (オーディオ入力用1、トリガー入力用1、レベル切替1) / アウトプット (ステレオ用2、モノラル用1、レベル切替1) ● スピードランプ2、シグナルランプ3 ● 消費電力：20W ● 外形寸法：864(W)×270(D)×335(H)mm ● 重量：22kg ● 付属品；ピンプラグアダプター付2.5m接続コード

理想的なステージ機能を装備したコンボ・モデル。

VCO-1/VCO-2

- それぞれ、レンジ、ピッチ、基本波形が自由に設定でき、互いに関連づけた周波数を設定して音を重ねて使うこともできます。
- それぞれ、パルスワイド・コントロールによってパルス波の波形を自由に変化させることができ、LFOやADSRの信号を用いて自動的に変化させ、コーラス効果的な厚みのある音を得ることもできます。
- それぞれのモジュレーションで、LFOなどの信号によってピッチを自動的に変化させるビブラート効果を得ることができ、感度も自由に設定できます。
- VCO-1のシンクロは、ビートを無くし、2つのVCOによって単独のVCOでは得られない音色をつくることができます。
- VCO-2のキーボードフォワードをオフにすると、VCO-2のレンジ及びピッチで設定された周波数が鍵盤の音程とは関係なく得られ、特殊な奏法などに応用できます。

リング・モジュレーター

- 2つの周波数の組み合わせにより、チャイム的な音色など他の音源ではつくることができない効果を出すことができます。

LFO-1/LFO-2

- LFO-1では「△」、「∩」、LFO-2では「∪」、「∧」、「□」の各波形の幅広いレート設定ができます。
- LFO-2のディレイタイムでは、キーを押してから効果がかり始めるまでの時間を自由に設定できます。

サンプル&ホールド

- VCO-1で設定した音を定間隔で区切り、鍵盤の音程とは関係のない特殊効果音を自動的につくり出すことができます。

ノイズ・ジェネレーター

- 『シャー』というホワイト・ノイズと『ザー』というピンク・ノイズの2種類のノイズを出し、擬音などの音源として活用できます。

ヘッドホーン・モニター

- ヘッドホーンを接続してモニターができ、VCAのアウトレベルとは関係なく音量調節ができます。

VCF

- ローパス、バンドパス、ハイパスの3通りに切替えることのできるフィルターを持ち、多様性に富んだ音色設定ができます。
- ADSRなど3種のエンベロープ信号により音色効果を出すことができ、感度も自由に設定できます。
- キーボード・フォワードではフィルターが動作する周波数の範囲を弾くキーに従わせる度を調節して、音域によって音色の異なる、アコースティック楽器のような音色設定をすることができます。
- VCFモジュレーションでは、LFOなどの信号によって音色を自動的に変化させるグルーヴ効果を得ることができ、感度も自由に設定できます。

バンドパス・フィルター

- 音域によって音色の異なる、一種の共振作用を利用した効果を出すフィルターで、効果のかかる周波数の位置を「フリケンシー」で設定でき、音色にクセをつけて効果を強調する度合を「レゾナンス」によって設定できます。また、レベル・コントロールによって、VCFとの音量のバランスをとることができます。

ミキサー

- ノイズ、VCO-1、VCO-2、リング・モジュレーター、及び外部入力計5つの音源のレベル・バランスをとることができ、同時に、VCF、VCF+BPF、BPF、VCAの計4通りの進路を選ぶことができます。

VCA

- ADSR、ARなど3種のエンベロープを選ぶことができ、全体の音量も自由に設定できます。
- キーから指を離しても音が鳴り続けるホールド効果のレベルも自由に設定することができます。
- ステレオのアウトを用いた場合には、パンニングによって左右のバランスをとったり、左右に音を移動させることができます。
- VCAモジュレーションでは、LFOなどの信号によって音量を自動的に変化させるトレモロ効果を得ることができ、感度も自由に設定できます。

エンベロープ・ジェネレーター

- ADSR及びARの2種のエンベロープ信号をつくることができ、トリガーではエンベロープを鍵盤以外の信号によって作動させることもできます。



コントローラー

- 鍵盤全体の音程を上下させることができる「チューン」、1オクターブづつ上下に音程を切り替えることができる「トランスポーズ」、音程やフィルターの作用範囲をレバー操作で変化させることのできる「ベンダー」な

どのコントロールが演奏中に素早く操作できます。
● 先に押したキーから次に押したキーまで連続的に音程が変化するホルタメント効果は、ホルタメントタイム・コントロールによって幅広い時間が設定でき、また非常に長くセットされたホルタメントを選択することもできます。